

# 市民活動・ボランティア ニュース



2008年

1

月号

平成19年12月25日発行  
通巻109号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

## ◆発行◆

514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5981  
Fax.059-222-5971  
E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
NPO室のホームページ  
<http://www1.mienpo.net/npot>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは  
こちらにあります！

## 【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／分部食堂／(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●四日市市●四日市市市民活動センター／寺子屋プロジェクト／みえチャレンジプラザ ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中央大学／松阪市市民活動センター ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会／いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリソート赤目の森／名張市市民活動支援センター／くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズアップル まちづくりセンター／伊賀市中央公民館／伊賀市立図書館／上野青年会議所／伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／第三銀行各店／メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県柴町庁舎(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／斎宮歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンドみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町役場

## NPOと行政の契約について調査結果が出ました NPO法人市民社会研究所

三重県は「新しい時代の公」を掲げ、多様な主体との協働をすすめており、NPOと行政との契約等(各種契約や指定管理)が増える傾向にあります。ところが、NPOとの契約について、統一的な積算単価等の基準もなく、人件費等への認識もまちまちなのが現状です。NPOが県民・市民等に対して質の高いサービスを提供するためには、このようなあり方を見直し、よりよい契約締結に向けて改善をはかる必要があります。

この基礎資料とするため、NPO法人市民社会研究所では、2007年8月、三重県内のすべてのNPO法人を対象に、NPOと行政との契約について調査を行いました。この調査と並行して、三重県(政策部企画室)でも、全所属を対象に「NPOとの契約に関する調査」が行われました。

このほど、これら2つの調査の結果がまとまりましたので、その中のポイントを紹介します。

### ●行政との契約の経験のあるNPO法人は 54.3%

行政等から事業委託を受けたNPO法人(全国)は、2000年には14.3%、2002年には23.1%でした。今回の調査では54.3%が行政との契約の経験をもっており、年々増加しています。

### ●契約の相手方は市町が中心

2007年度の契約の相手方は国7.2%、県24.6%、市町村が69.7%でした。

### ●NPOに期待されている機能は

「専門性」と「住民との関係性」  
県がNPOと契約した主たる理由は、「この事業領域についての専門性があること」が40.4%、「住民の参加や協働の促進につながる」ことが30.9%で、この2つが突出しています。

### ●人件費と間接経費の積算

県の契約では、NPOの事務局スタッフの人件費が含まれている契約は30.4%しかありませんでした。また、企業では直接人件費の150~200%近くも認められている間接経費(水道光熱費、事務所家賃、広告宣伝費、職員研修費など)を含めている契約は、わずか4.4%にすぎません。

### ●NPO法人の専門性の自己認識

Q:貴NPOの専門性のレベルはどの程度だとお考えですか



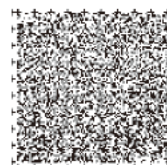
これらの調査結果の報告会と  
NPOの契約勉強会を開催します。

- とき／1月25日(金)14:00~16:30
- ところ／みえ県民交流センター ミーティングルームA・B  
(津市羽所町700アスト津3階)
- 参加費／無料(事前申込不要)
- 主催／NPO法人市民社会研究所、三重県

問い合わせ先／NPO法人市民社会研究所  
Tel.059-363-3539  
E-mail ssk21ww@yahoo.co.jp

## SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。





先日、災害時における外国人支援について、特に震災時について具体的な事例を交えたお話を聞く機会がありました。そこで「ああ、そうか」と思う話がいくつかあり、今回はその中でも、より多くの人に知っていただきたいなと思ったものを取り上げてみます。

まず、これまで大きな地震がほとんど起きていない国が思ったより多く、(例えば、ブラジル、スペインなど)そして、こうした国の人々は地震の揺れから、おおよその震度はもとより、それが大きい地震なのか、心配するほどのものではないかの判断がなかなかないこと。また、避難所について、「避難所」がどんなところに来て、そこがどんな機能を果たすのかといった情報を得る機会がなかなかないと言ったお話でした。

日本人にとっては大小の差はあれ、地面は揺れるものでしょうし、大人は小さな頃からの感覚でおおよその震度を推測できる力がついていますし、「避難」については学校教育の中で避難訓練を体験でき、避難所がどこになるのかをくり返し聞く機会があつて、ここでは飲食料が配られることなど「そんなの当たり前」と思っていることの多くが、実は外国の方々にはなかなか浸透していないことにあらためて驚きました。

この話しを聞きながら、近所のスーパーで見かける機会が多くなった彼女、彼らの姿が浮かんできました。それぞれの職場などで災害時の対応について聞いてはいるのですが、普段より、出かける先となるところを活用した周知方法がないものかなあとも思いました。それは結局、日本人の私達にとって、避難所で日本とは違う文化背景を持った外国の人達と一緒に過ごすのだという認識にもつながっていくのではないのでしょうか。

## みなさんへのお知らせ

### 特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室に備え置いてあります。

#### ●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

【1】(1)コスモス(2)田合 豪(3)名張市桔梗が丘5番町12街区18番地

【2】(1)eふぉーらむ(2)岡本 悟(3)松阪市垣鼻町1750番地1

【3】(1)ステップワン(2)松村啓子(3)伊勢市楠部町字下村1677番地5号  
(平成19年11月10日~平成19年12月9日申請分)

#### ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

ワールドライン(平成19年5月15日)/障害者自立支援センター(平成19年7

月27日)/みなみいせ市民活動ネット(平成19年8月28日)/コスモス(平成

19年11月8日)/松阪市手をつなぐ育成会(平成19年11月14日)/アイ・コ

ラボレーション伊賀(平成19年11月21日)/なのはな音楽療法研究会(平成

19年12月3日)(平成19年11月10日~平成19年12月9日届出分)

## イベントスケジュール

### ”学生生活何かしたい”

~そんな気持ちを抱いている学生さんの交流会です~

●とき/1月11日(金)19:00~ ●参加費/1000円

●ところ/カフェ ディーズアクト(d'sact)(松阪市駅前ベルタウン)

●内容/このまま学生生活を終わらせたくない!もっとおもしろい人と出会って、おもしろい企画してみたい!と思ってる人大歓迎。これを機に3月…なにか学生パワーでおきなこことやっちゃいましょう。

●応募締切/1月6日(日) ●募集人数/20名

●主催・申込・問い合わせ先/学生団体SPREADWORKS

(担当:ワタナベ) E-mail cafe-dsact.saki@hotmail.co.jp

ホームページ <http://cafedsactsaki.mie1.net/>

### 津ドイツ語会話教室

●とき/1月11日~3月21日(毎金曜・全10回コース、2月29日はお休み)18:45~20:30

●ところ/津橋北公民館研修室C(アスト津4階)

●内容/三重大学ドイツ人留学生のカタリーナ・ビスクブさんを講師に迎えて、ドイツ語会話を学びます。毎回前半はNHKラジオ講座のテキストにそった入門編、毎回後半は会話の練習を主とします。

●主催・申込・問い合わせ先/三重日独協会(担当:向井明子)

Tel.059-232-0594 E-mail mukai@zvtv.ne.jp

### みえ災害ボランティア支援センター研修会

「現地災害ボランティアセンターと広域ボランティア支援セン

ターの実践から学ぶコーディネーター」

●とき/1月13日(日)受付9:30 10:00~12:00

●ところ/みえ県民交流センター(アスト津3階) ●参加費/無料

●内容/多くの被災現場でボランティア活動をコーディネートしてきた、NPO法人レスキューストックヤードの栗田暢之さんから、災害ボランティアセンター活動の実際と極意・失敗談を学びます。

●募集人数/先着100人 ●申込方法/FaxまたはE-mail。

●申込先/三重県防災VC養成協議会 Fax.050-7000-6029 E-mail webmaster@v-bosaimie.jp

### 【NPO法人森林の風】

#### 森林活動「まちの木こり人育成講座」

●とき/1月13日、2月10日、3月9日(すべて日曜)

8:50~15:30 ●募集人数/20人

●参加費/2000円(保険料及び資料代)

●内容/第三クールは「チェーンソー間伐と枝打ち」。

●持ち物/弁当、水筒、雨具、ハイキングの服装、筆記具、軍手、着替え、ヘルメット・のこぎり(持っている方のみ)

#### 臨時講座「水源の森プログラム」

●とき/1月14日(祝・月)、2月11日(祝・月)

●参加費/1000円 ●募集人数30人

●内容/水源の森プログラムに合わせて森を測ります。森林調査と施業方針を考える講座。健康な水源の森育成を考えましょう。

#### 臨時講座「日本鹿・日本カモシカの生態と対策」

●とき/2月24日(日)

●内容/鹿害の生態を学び、森林での共生と対策を考えましょう。

●ところ(全講座)/鈴鹿森林組合向井作業所前

●問い合わせ先/森林施業NPO法人森林の風 Tel059-321-7719。ホームページ <http://www.morinokaze.info>

#### 地域防災講演会 ー大規模災害時に支え合うためにはー

●とき・ところ/1月16日(水)19:00~21:00 大台町健康ふれあい会館/1月19日(土)14:00~16:00 松阪市産業振興センター ●参加費/入場無料。事前申込不要。

●内容/地震に対する意識をより高め、事前対策や知識の普及を目的に、三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会議長の山本康史さんの講演を開催。今回は災害時要救護者対策がテーマです。地震体験コーナーも同時開設。

●主催・問い合わせ先/三重県松阪県民センター・防災室

Tel.0598-50-0503 E-mail mkenmin@pref.mie.jp

ホームページ(防災みえ.JP)<http://www.bosaimie.jp>

(三重県松阪県民センターホームページ)





### みつめる 感じる ふれあう

～あなたがつくる笑顔のつながり～  
●とき/1月19、20日(土、日)11:00～18:00  
●ところ/イオンモール鈴鹿ベルシティ1階中央コート

●内容/ブラジル移民の100年展や鈴鹿の団体の活動を紹介するブース、手品教室、バルーンアートなど企画がもりだくさん。  
●問い合わせ先/三重県多文化共生啓発事業実行委員会(生活部国際室) Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984 E-mail kokusai@pref.mie.jp



### 伊勢市国際交流協会 第29回国際理解講座 「それでも生きる子供たちへ」の上映と講演会

●とき/1月20日(日)13:00～16:30

●ところ/ハートプラザみその 多目的ホール  
●参加費/小学生～高校生 前売300円・当日500円、大人・大学生 前売500円・当日1000円、伊勢市国際交流協会会員 前売300円・当日1000円 ●募集人数/300人  
●内容/両親の別離、ストリートチルドレンなど、厳しい現実の中、希望を持って生きる7つの国の子供たちの姿を描く映画『それでも生きる子供たちへ』。上映の前に、長年にわたるNGO活動や開発教育などの分野でご活躍の池住義憲さんにお話しを伺います。  
●申込・問い合わせ先/伊勢市役所市民参画交流課内・伊勢市国際交流協会事務局 Tel.0596-21-5549



### 自分も相手も大事にするコミュニケーション2

●とき/1月26日、2月2日、2月23日、3月8日(すべて土曜)時間はすべて13:30～15:30

●ところ/伊賀市ゆめぼりすセンター 1階会議室  
●参加費/3000円(4日間)  
●内容/自分自身の気持ちや感情を穏やかに、楽に保つことが目的です。1回目を受講していなくても、受講できる内容です。  
●募集人数/20名 ●応募締切/1月15日(火)  
●主催・申込・問い合わせ先/DVヘルプライン・MIE Tel.090-9223-3351 Fax.0595-21-8991 E-mail dvhelplinemie@yahoo.co.jp

### アレルギー児の防災について阪神大震災の教訓に学ぶ

●とき/1月27日(日)開場12:30 13:00～16:30  
●ところ/四日市市文化会館 ●参加費/300円(資料代)  
●内容/災害時、食品アレルギーの子どもたちは乾パンなどの備蓄食品を配給されても食べることができません。断水や粉塵によって、ぜん息やアトピー性皮膚炎の悪化も懸念されます。阪神大震災の前例を教訓に、災害時の対応について学びましょう。  
●応募締切/12月27日(木) ●申込方法/電話予約。  
●主催・問い合わせ先/あれるぎっこおひさまの会四日市(担当:浅川) Tel.&Fax.059-345-2390

### 外国人のための専門相談会

●とき/1月27日(日)13:00～17:00  
●ところ/アスト津3階ミーティングルームA・B ●参加費/無料  
●内容/相談分野は法律・在留資格関係。通訳はポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、タイ語、タガログ語、インドネシア語。  
●募集人数/各分野最大5人。一人30分まで。予約制。  
●受付開始/1月7日(月)9:00～  
●問い合わせ先/(財)三重県国際交流財団 Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007

### 地域の知の拠点シンポジウム

●とき/1月27日(日)13:00～16:20  
●ところ/三重県総合文化センター内 生涯学習センター・視聴覚室  
●内容/三重県では、県内大学等高等教育機関との連携を強化し、県民の地域活動への参加や地域の課題解決につながる取組を支援する講座開催などに取り組んでいます。今年度は、「今日からはじめる防災の取組」をテーマに、シンポジウムを開催します。  
●募集人数/130人程度 ●応募締切/1月17日(木)  
●問い合わせ先/政策部企画室 Tel.059-224-2025 E-mail kikakuk@pref.mie.jp



### 市民のための環境公開講座 「美しい国・三重の森と海を語る」

●とき/2月2日 13:00～16:00

●ところ/三重県総合文化センター小ホール  
●参加費/無料(要事前申込)  
●内容/第一部 基調講演、C. W. ニコル氏(作家、ニコル・アフアの森財団理事長)。第二部はパネルディスカッション。  
●問い合わせ先/株式会社損害保険ジャパン三重支店 Tel.059-226-1800

### 助成金獲得セミナー

●とき/2月2日(土)13:30～16:00 ●参加費/無料  
●ところ/ゆめぼりすセンター2階(伊賀市ゆめが丘1-1-4)  
●内容/講義「助成制度のしくみ」「助成申請書類の書き方」、演習「プレゼンテーションの進め方」を行います。  
●募集人数/50人(定員になり次第、締切)  
●問い合わせ先/518-0869 伊賀市上野中町2976-1 伊賀市社会福祉協議会 Tel.0595-21-5866 Fax.0595-26-0002 E-mail ue-vac@hanzou.or.jp 518-0718 名張市丸之内79 名張市社会福祉協議会 Tel.0595-63-1111 Fax.0595-64-3349 E-mail n.turevo@nava21.ne.jp

### プレイセンター☆こどもスペース四日市 まなびの場公開講座 久保田カさん講演会「元気が出る子育てのはなし」

●とき/2月3日(日)10:00～12:00



これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

### みなさん決算はバッチリでしょうか…

NPO法人の会計年度は、必ずしも4月から翌年の3月までと決まっているわけではありませんが、1月頃になると、その年の書類をいったんまとめたり、翌年の計画を立てる団体も多いのではないのでしょうか。

とりわけ、計画した活動や事業が予算どおりうまく進んでいるのかをチェックすることは大切です。NPO向けのマネジメント講座で「かならず2月に仮決算すること。3月を過ぎると何もできなくなる!」と講師の方が強調されているのを聞いたことがあります。

つまり、2月に財務内容を確認して3月までにやるべきことはキチンとしておかないと、4月になってからでは何も対応できないからだそうです。

そろそろチェックをはじめられてはいかがでしょうか?

三重県生活部NPO室 堀木俊哉



- ところ／四日市市楠ふれあいセンター(ゆめの木)
- 参加費／1000円(託児(一人500円)、先着20人)
- 内容／家庭と地域がやる気を出せば、子どもと一緒に元気に育っていける。日本の子育て支援に「？」を投げかけ続けるおもしろ先生、久保田力さんの楽しくて元気が出る子育てのお話です。
- 申込・問い合わせ先／NPO法人 体験広場☆こどもスペース四日市(担当:中筋) Tel.&Fax.059-321-0883
- E-mail space@m4.cty-net.ne.jp



### 青春キネマ館5周年特別企画

映画評論家・山根貞男トーク&「しとやかな獣」上映会  
●とき／2月10日(日)開場15:30 16:00～

- ところ／進富座(上映+トーク)、日の出旅館(夜鍋談義・宿泊)
- 参加費／トーク券(一般)前売2500円・当日3000円(高校生以下)前売1000円・当日1500円、夜鍋談義券8000円、宿泊券13000円
- 内容／川島雄三監督作「しとやかな獣」上映と、映画評論家、山根貞男さんのトーク「古い映画も新しい映画も面白さは現在形!」を開催。山根さんと一緒に食事を囲む、夜鍋談義も行います。
- 応募締切／宿泊券1月15日(火)、夜鍋談義券2月3日(日)
- 主催・予約・問い合わせ先／青春キネマ館&キッズシアター上映実行委員会 Tel.0596-23-0839

### 若者の就労を考える親向けセミナー

- とき／2月16日(土)13:30～16:30
- ところ／名張市役所3階会議室303、304 ●募集人数／20人
- 内容／若者の就労に向けて、家族ができる支援について考えるとともに、同じ課題を持つ家族同士の交流を行います。
- 申込・問い合わせ先／三重県若者自立支援センター Tel.059-246-1212 Fax.059-222-3301
- E-mail wakamono@pref.mie.jp

### 2007年度国際交流団体セミナー

「多文化共生」のカギをにぎるのは…地域のボランティア!

- とき／2月16日(土)10:00～16:00
- ところ／アスト津3階ミーティングルームA・B
- 参加費／1000円
- 内容／自治体、国際交流協会、NPO職員、ボランティアなどを対象に、国際分野において、ボランティアとともに実施する事業の企画、実施の手法を実践的に学びます。
- 募集人数／40人 ●応募締切／1月15日(火)
- 申込方法／FaxまたはE-mailで下記まで。
- 問い合わせ先／(財)三重県国際交流財団 Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp
- ホームページ <http://www.mief.or.jp>



### 出会い応援 ミーツ・パーティー'08

- とき／2月17日(日)11:00～15:00
- ところ／松阪市 中心市街地
- 参加費／女性2000円 男性4000円
- 内容／これから家庭を築こうとする世代に対し、出会いの場を設定しました。楽しい食事やゲームのほかに、「自分に似合う色」のミニ講座も実施。詳細案内はE-mailの件名を「ミーツ詳細希望」とし、「住所・氏名・年齢・性別・職業・Tel.」を記入して送信してください。
- 募集人数／20～30代の未婚男女各20人
- 問い合わせ先／ミーツプロジェクト事務局(担当:米山) Tel.0598-22-0908、090-3385-6958 E-mail info@m-bridge.jp
- ホームページ <http://m-bridge.jp/>

## ネットワークのよびかけ

### 中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～  
中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【交流会】●とき／1月8日(火)15:00～17:30

【協働勉強会】●とき／2月5日(火)13:30～16:30

●問い合わせ先／W. T. Aまちづくりセンター Tel.0595-24-7612

### 特定非営利活動法人 三重いのちの電話協会 第6期生(2008年度)ボランティア電話相談員募集

「いのちの電話」は研修を受けたボランティア電話相談員が、電話を通して、悩める人の相談相手になっていこうとする、市民活動です。「三重いのちの電話」は18:00～23:00、毎日電話相談を受けています。あなたもこの活動に加わって、共に学びつつ、受話器に耳を傾けるひとりになってくださいませんか。会場は津市内周辺。

●募集期間／2月1日(金)～3月20日(木)消印有効

●とき／第1課程平成20年4～12月、第2課程平成21年1～7月。毎月土曜日に3回程度。14:00～16:30

●受講料／申込手数料2000円、第1課程45000円、第2課程20000円 ●募集人数／50人

●問い合わせ先／特定非営利活動法人 三重いのちの電話協会 Tel.&Fax.059-213-3975(平日13:00～16:00)

ホームページ <http://www12.plala.or.jp/mie-inochi/>

### 第7回NGO/NPO・企業 環境政策提言募集

「民」の発想及び「地域の現場」のアイデアを実際に政策に生かすとともに、NPO等との協働による政策づくりを進める観点から、NGO/NPO・企業より、環境政策提言を募集します。優秀な提言は、平成20年4月(予定)のフォーラムで発表。さらに環境省の事業予算により実現に向けたフィージビリティ調査を実施予定。また、各地の環境パートナーシップオフィスで、セミナーなどを開催します。

●応募締切／1月31日(木)

●申込・問い合わせ先／105-0003 東京都港区西新橋2-16-2 3階 (財)水と緑の惑星保全機構内 「NGO/NPO・企業環境政策提言推進委員会」事務局(担当:島田、遠藤)

Tel.03-3433-4454 Fax.03-3433-4510

E-mail teigen@teigen.jp ホームページ <http://teigen.jp>

### 「伝える力・スキルアップ講座」受講生募集

詳細案内希望者はE-mailまたはFaxの件名を「伝える力講座 案内希望」とし、「住所・氏名・年齢・Tel・講座番号」をご連絡ください。

●ところ／松阪市市民活動センター

【講座1・笑顔伝える「クラウン講座」】

●とき／2月6日より毎週水曜19:00～(全4回)

●内容／クラウン(ピエロ)の持つ「お子様の心をひきつけるテクニク」の講座。講師は、ホスピタルクラウンのクラウン・チャン氏。

【講座2・書いて伝える「文章講座」】

●とき／2月8日より毎週金曜19:00～(全4回)

●内容／魅力溢れる文章を書くための講座。

【講座3・語って伝える・講師養成講座】

●とき／2月9日(土)18:30～、2月10日(日)9:30～(全2回)

●内容／講師になることで、学びの交流を楽しみつつ、活動の財源を得ることに繋がります。講師の安宅仁氏は、5000件を超える講



演企画をしてきた現役プランナーです。

●問い合わせ先／特定非営利活動法人Mブリッジ(担当:米山)  
Tel.0598-26-0108 Fax.0598-25-3803 E-mail  
info@m-bridge.jp ホームページ <http://m-bridge.jp/>

# 助成金 ニュース

## 平成20年度環境NPO助成

- 受付締切／平成20年1月25日(金)消印有効
- 助成の対象となる団体／NPO法人または3年以上の実践活動歴がある国内の任意団体。なお、活動歴が3年未満の任意団体についても、優れた提案については審査委員会の判断で助成対象と致します。
- 助成の対象となる活動／a.「環境と経済との調和」に資する活動…地球温暖化問題への取り組み、循環型経済社会実現への取り組みなど。  
b.「環境と科学技術との調和」に資する活動…予防原則に関する取組み、Biomimicry(生物模倣)を取り入れた技術開発など、環境に優しい科学技術に係る事業(普及啓発活動を含む)、ワットアワーメーターなど環境に優しい技術開発を目指すエコナビ・ジョイントベンチャーの取組みなど。
- 助成の額／原則として1件あたり上限150万円
- 問い合わせ先／(財)日立環境財団 101-8010 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDXビル21階 Tel.03-3257-0851 Fax.03-3257-0854 ホームページ <http://www.hitachizaidan.org/index.html>

## パタゴニア日本支社環境助成金プログラム

- 受付締切／平成20年1月31日(木)
- 助成の対象となる団体／以下のようなグループ。  
常に行動を起こしている。広く一般の人々を巻き込み、支持を得ている。目的を達成するために戦略的に活動している。問題の根本の原因を見極め、その原因に働きかけている。明確な目標と活動対象を持っている。パタゴニアがビジネスを展開している地域で活動している。
- 助成の対象となる活動／具体的な環境保護活動。
- 助成の額／活動内容、用途などにより20~70万円程度。
- 問い合わせ先／パタゴニア日本支社／環境助成金プログラム係  
248-0006 神奈川県鎌倉市小町1-13-12 Tel.0467-23-8961  
ホームページ [www.patagonia.com/](http://www.patagonia.com/)

## 明治安田クオリティオブライフ文化財団 地域の伝統文化分野保存維持費用助成

- 受付締切／平成20年1月31日(木)消印有効
- 助成の対象／(i)「地域の民俗芸能」、(ii)「地域の伝統的生活技術」。それぞれの継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力している個人か団体。
- 助成の条件／平成20年度中に後継者育成と保存継承に必要な諸費用(道具整備費、製作材料費、育成研修費、記録保存費用など)の支出を予定していること、また、この支出を賄うために個人・団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
- 助成の額／「民俗芸能」1件につき上限70万円。  
「伝統的生活技術」1件につき上限40万円。
- 応募方法／申込に際しては、市町村教育委員会、公立博物館、学識経験者等からの推薦ならびに県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財関係所管課のコメントが必要。
- 問い合わせ先／(財)明治安田クオリティオブライフ文化財団  
160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-1 明治安田生命新宿ビル  
Tel.03-3349-6194 Fax.03-3345-6388  
ホームページ <http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp>

## 河川整備基金助成 3.国民的啓発運動

- 受付締切／平成20年1月31日(木)消印有効
- 【3-1.一般的助成】
- 助成の対象となる団体／地方公共団体、法人、学校、任意団体。
- 助成の対象となる活動／1)川と人々のかかわりを深めるための河川愛護活動・河川環境学習・人材育成。2)小中高等学校の総合的な学習の時間における河川を題材とした活動。3)防災ボランティア等の活動。4)水害対策に係わる活動。5)水利用の合理化・高度化・水と産業とのかかわり等に関する普及啓発活動。6)流域間・流域内交流。7)河川に関わる国際交流活動。8)河川文化講演会等の開催。9)その他、河川・ダム等の利用、整備の重要性についての一般のひと々への関心と理解を深めるための1)から8)以外の活動で、国民一般又は地域の人々にアピールするもの。
- 助成の額／全国規模活動1件につき助成期間1年で1000万円以内。  
地域的な規模活動1件につき助成期間1年で500万円以内。
- 2)の「小中高等学校の総合的な学習の時間における河川を題材とした活動」については1件10万円以内。ただし助成内で2年間にわたることが可能。
- 【3-2.新設市民団体運営支援助成】
- 助成の対象となる団体／NPO法人、任意団体。
- 助成の対象となる活動／上記【3-1.一般的助成】の対象となる諸活動を継続的に行う非営利団体の活動運営費。再度の申請は認めません。
- 助成の額／1件につき最長5年で各年50万円以内。
- 問い合わせ先／(財)河川環境管理財団研究第一部(担当:石島威・矢野恭治) 103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町11番9号 住友生命日本橋小伝馬町ビル Tel.03-5847-8303 Fax.03-5847-8309  
E-mail [ishijima-t@kasen.or.jp](mailto:ishijima-t@kasen.or.jp)  
ホームページ <http://www.kasen.or.jp/joseiboshu20/h20.htm>  
※今回、誌面では「3.国民的啓発運動」を掲載します。「1.調査・試験・研究」、「2.環境整備対策」については直接お問い合わせください。

## 平成20年度民間の高齢者生きがい健康づくり推進 支援事業(長寿社会福祉基金交付金事業)

- 受付締切／平成20年1月31日(木)必着
  - 助成の対象となる活動／独創性、先駆性、普遍性のある事業であり、次のテーマに関連する事業。
  - 1.退職労働者の地域活動を促進する事業。2.高齢者の社会貢献を促進する事業。3.高齢者の生きがいと健康づくりを支援する人材を養成する事業。4.高齢者の生きがいと健康づくり活動などのネットワーク化に関する事業。5.高齢者と子ども世代との交流を推進または支援する事業。6.高齢者の生涯スポーツ、文化活動を通じた介護予防の推進に寄与する事業。7.1~6に該当しないが、その他高齢者の生きがいと健康づくりを推進する事業。
  - 助成の対象となる団体／次のいずれかに該当する団体又は法人であって、事業の実施体制が整っているもの。
  - 1.社会福祉法人。2.民法第34条の規定により設立された法人。3.特定非営利活動法人。4.地方公共団体等の出資により設立、運営される団体であって営利を目的としないもの。5.その他社会福祉の振興に寄与する事業を行う団体又は法人であって、営利を目的としないもの。
  - 助成の額／原則として上限250万円。
  - 問い合わせ先／財団法人 長寿社会開発センター企画振興部  
105-8446 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル8階  
Tel.03-5470-6753 Fax.03-5470-6762  
E-mail [ma-koyama@nenrin.or.jp](mailto:ma-koyama@nenrin.or.jp)  
ホームページ <http://www.nenrin.or.jp/>
- 助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858 ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

**みえぎんNPOローン** 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで  
URL: <http://www.miebank.co.jp>

“地域とともに みなさまとともに”



株式会社から各種法人設立、許認可申請、契約書作成

## NPO法人設立手続のサポート

事業報告書等提出書各種変更届等の作成もお手伝いします。

法務 よいよ

**0120-406-414** (フリーダイヤル)

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC)  
三重県津市本町14-18 第1奥山ビル202



# つながれ!.....NPO支援ネットワーク

みえ市民活動ボランティアセンター TEL059-222-5995/FAX059-222-5971

## 新年特集 2008年もよろしくお祈いします!

三重県に初めて市民活動センターができて今年で10年になります。今では県内各地に様々な機能や個性を持ったセンターができ、市民活動をサポートしています。

⑩ W・T・Aまちづくりセンター  
〒518-0867 伊賀市上野福居町 3317 番地  
TEL : 0595-24-7612  
E-mail : nagi\_47\_4\_3@yahoo.co.jp  
[http://blog.goo.ne.jp/w\\_t\\_a\\_matisen/](http://blog.goo.ne.jp/w_t_a_matisen/)

⑪ 伊賀市市民活動支援センター  
〒518-0131 伊賀市ゆめが丘 1丁目1番地の4  
ゆめぼりすセンター内  
TEL : 0595-22-1511 FAX : 0595-22-0317  
E-mail : igasksc@ict.ne.jp  
URL : <http://www.city.iga.lg.jp>

⑫ 名張市市民活動支援センター  
〒518-0441 名張市夏見 2812 番地  
名張市勤労者福祉会館 1階  
TEL : 0595-63-5325  
FAX : 0595-63-5326  
E-mail : c-center@city.nabari.mie.jp  
URL : <http://www.emachi-nabari.jp/siminkatudou/>

⑬ 津市市民活動センター  
〒514-0027 津市大門 7-15  
津センターパレス 3階  
TEL : 059-213-7200  
FAX : 059-213-7201  
E-mail : tsusimin@zvtv.ne.jp  
URL : <http://zvtv.ne.jp/tsusimin/>

⑭ みえ市民活動  
ボランティアセンター  
〒514-0009 津市羽所町 700 番地  
アスト津 3階  
TEL : 059-222-5981 FAX : 059-222-5971  
E-mail : center@mienpo.net  
URL : <http://www.mienpo.net/center/>

⑮ 東紀州コミュニティデザインセンター  
〒519-3618 尾鷲市栄町 75-33  
Cafe CReAM 気付  
TEL : 0597-22-5554  
E-mail : hcd\_secretariat@nifty.com  
URL : <http://www.smart-frog.com/hcd/index.html>

⑯ 紀宝町ボランティア・  
市民活動センター  
〒519-5701 南牟婁郡紀宝町鶴殿 1074-1  
紀宝町福祉センター内  
TEL : 0735-32-0957  
FAX : 0735-32-0958  
E-mail : volunteer@kiho-shakyo.or.jp  
URL : <http://www.kiho-shakyo.or.jp>

① みえきた市民活動センター  
〒511-0088 桑名市南魚町 86  
TEL : 0594-27-2700 FAX : 0594-27-2733  
E-mail : miekita@mie-kita.gr.jp  
URL : <http://www.mie-kita.gr.jp/>

② 桑名市市民活動支援センター  
〒511-8601 桑名市中央町 2丁目 3 7 番地  
桑名市役所分庁舎 1階  
TEL : 0594-24-1204 FAX : 0594-24-1353  
E-mail : kuwana-sksc@tuba.ocn.ne.jp  
URL : <http://www.city.kuwana.lg.jp>

③ 四日市市なやプラザ  
〒510-0045 四日市市蔵町 4-17  
TEL : 059-357-1370 FAX : 059-357-1371  
E-mail : center@npo.city.yokkaichi.mie.jp  
URL : <http://www.npo.city.yokkaichi.mie.jp>

④ 市民ネットワークすずかのぶどう  
〒510-0241 鈴鹿市白子駅前 18 番 15 号  
TEL/FAX : 059-387-0767  
E-mail : budou@mecha.ne.jp  
URL : <http://budou.gr.jp>

⑤ 亀山市市民協働センター  
〒519-0125 亀山市東町 1-8-7  
TEL : 0595-84-5800 FAX : 0595-84-5801  
E-mail : mail@shimin-kyodo.sakura.ne.jp  
URL : <http://shimin-kyodo.sakura.ne.jp/>

⑥ 松阪市市民活動センター  
〒515-0084 松阪市日野町 788  
カリヨンプラザ 3F  
TEL : 0598-26-0108 FAX : 0598-25-3803  
E-mail : katsudou@ma.mctv.ne.jp  
URL : <http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/>

⑦ めいわ市民活動サポートセンター  
〒515-0332 多気郡明和町馬之上 944-5  
ふるさと会館隣  
TEL : 0596-52-7129 FAX : 0596-52-7739  
E-mail : hearvo@ma.mctv.ne.jp  
URL : <http://www.ma.mctv.ne.jp/~hearvo/>

⑧ いせ市民活動センター  
〒516-0037 伊勢市岩淵 1丁目 2 番 29 号  
TEL : 0596-20-4385 FAX : 0596-20-4386  
E-mail : skc@e-ise.net  
URL : <http://skc.e-ise.net>

⑨ みなみいせ市民活動ネット  
〒516-0101 度会郡南伊勢町五ヶ所浦 3917  
南伊勢町町民文化会館内  
TEL : 0599-67-1011 FAX : 0599-67-1012





# ▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。世古口文子さんからバトンが渡ったのは鳥羽市の川村さん。10年ほど前から市民参加のまちづくりに取り組み、行政と市民団体の間に立ち、互いの関係を取り持つコーディネーター役を数多く担当しています。

## 市民活動の中間支援の先駆け

……市民活動を始めたきっかけは？

僕の場合は、鳥羽青年会議所（以下、JCと略）の活動です。JCで市民参加のまちづくりに取り組み、鳥羽小学校の建て替えに係わったことが原点になっています。それが今から10年ほど前です。

……早くから、市民参加のまちづくりに取り組んでいたのですね。JCでの兄貴的な存在として、元鳥羽水族館副館長の中村元さんがいて、彼が早くから市民参加のまちづくりの必要性を語っていました。40歳でJCは卒業しましたが、その後、中村さんが「でもくらしちずん」というまちづくりを考える市民塾を開いた時に僕にも声がかかりました。また、同時期に南勢県民局の方から「伊勢志摩地域のNPOを活性化するために必要なもの考えるアンケート事業」の相談を中村さんが受けて、アンケートでは面白くないので、この地域で活発に活動している人を集めて、伊勢志摩地域でNPOがイキイキと活動出来るためのビジョンづくりをワークショップで行うことになりました。その結果、中間支援のようなゆるやかなネットワークを作ろうということになりました。それが今僕が、事務局次長をしているNPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会です。交流会や研修ができて、ワークショップの技術でサポートできるような仕組みを作りました。

……後押しのような活動ですね。

自分が何かをするというよりも「どうにかしたいんだけど…」という人を支援しています。これまでの巡り合わせで、行政支援をすることも往々にしてありますね。例えば、協働で事業をしようと行政から市民に投げかける時に、よくミスマッチが起こります。両方も悪気は無いのに、文化が違うために揉めてしまうことを何度も体験したものですから、間に立ってコーディネートする立場として中に入っていました。そのきっかけが鳥羽小学校です。

## 完全公募型フルオープンで、学校候補地を選定

……鳥羽小学校の候補地提案事業をワークショップで行うことになった経緯を教えてください。

元々は校舎の建て替えについてPTAやJC、地域の人を交えてワークショップを行っていました。ところが、現地での建て替えができなくなり、移転場所が無いという状況に陥ってしまいました。そこで僕らは土地の選定から公募型で行おうと投げかけました。前代未聞だと言われましたが、行政とPTA、地域の代表格の人たちが参加し

て、完全フルオープンで、学校用地選定を行うことになりました。

……行政の関わり方は？

鳥羽市教育委員会が行政側の窓口になり、書類作成などの資料作成、議会や、県など担当部署との連絡などを担当していただきました。伊勢志摩NPOネットワークの会は会議の企画進行をコーディネーターとして委託されました。三重大学の浅野先生にはアドバイザーをお願いしました。

……行政側におおよその計画などはなかったのですか？

様々な意見はありましたが、会議をオープンにしたので、建て替え時に重ねたワークショップの流れを尊重することになりました。ただし、1回目のトライは不調。2回目のトライで土地が決まりました。

……1回目が不調に終わったのは？

最初は幾つか挙がった候補地を、できるだけ客観的な評価をすることから始めました。市内のことですから、感情や情念など、数字では割り切れないことがあるので、それに左右されないよう学校の用地として相応しいかどうか、評価の基準をつくりました。一番大事なのは通学路の安全など、子どもたちの安心安全を確保することです。その他に、土地の価格や、以前どのような使われ方をしていたかなどを精査しました。その結果、一番合理的な場所となった候補地が小浜地区でした。ところがここは鳥羽の観光の要で、文教地区ではありません。僕たちというか、行政自体もそのことを重く考えていませんでしたが、観光業者の方から「大人が遊ぶような所に、子どもがたくさんいるのはどうか」という意見が出てきました。

……最後に覆されてしまったのですね。

学校についての会議ですから、PTA、自治会を中心に、JCやロータリークラブ、商工会議所などから参加してもらっていたのですが、正直、産業界の方はあまり関係が無いだろうと思っていました。でも、オブザーバーとして会議に参加していただいて「観光についても考えに入れて欲しい」と言われて、やっと気がきました。それに、ワークショップの認知度がまだまだ低くて、「勝手に話をしているだけ」と他からは見られていたようです。

……オープンな会だからこそ、意見が聞けたのですね。

意見がわかって良かったです。観光は鳥羽市にとって大きな要素ですから、最終的に市長が「保留」の決断をしました。その後には市長選挙があり、いろいろと面倒なことになりました（苦笑）。

……面倒なこととは？

鳥羽小学校問題が市長選の争点になりました。コーディネーターの僕は、できる限り中立ということで、各候補者に対して「市民会議から出た意見を尊重して欲しい」と、文章でアピールしました。

……個人の活動が制限されてしまったのですね。

僕は建築士で、工事も請け負っているのですが、中立性を保つために鳥羽市へ入札願いを出すのを止めました。金儲けのためにしていると思われるのはイヤだったからです。それに、土地を応募している人たちとも、できるだけ個人的に会わないようにしました。同じ町で生活していますから、どうしても会ってしまうので、おかげで外にお酒を飲みに行くこともできませんでしたよ（笑）。

……2回目のトライは？

再度公募から始めました。市長と教育長は初回からずっと参加してくださいました。まず最初のオリエンテーションで取り組んだことは、

NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会  
事務局次長

とおる  
**川村 透**  
さんに

聞く





「何のために、市民参加型ワークショップの会議をするのか」を全員に説明すること。3時間くらいかけて話をし、意見交換をしました。一つひとつ意見を募って、お互いの合意を取って。合意が取れたら、それを文字に書いて、確認しながら進んでいきました。毎回の会議でも、前回で決まったことを書き出して、振り帰りを行いました。

## 町を良くするためには、絶対に実現させたい」という熱意です。

……参加者の民度、意識も上がったでしょう？  
なかなか上手はいきませんが、行きつ戻りつしながら…ね。とにかく舞台上で動くのは止めて、言いたいことがあるなら会議の場でガンガン言う。裏で動かそうとする人には「子どもたちのためになりますか?」と投げかけました。会議のメンバーはもちろん、市長や教育長にも「会議のやり方を信用してもらって、勝手に自分たちがどこかで決めることはない」と言ってもらおうお願いしました。そうしてもらったことが、会議も、市長や教育長自身をも守ることになります。

……市長の言葉が重く受け止められることもあるのでは？  
完全にフラットな場所では、権限を持っている人の方が、逆に弱者になってしまいます。市長には市の事情も、議会との関係もありますから、それらを考えると行政側は市民から言われたい放題になってしまいます。そんな雰囲気にならないように、行政も市民も一緒に考えるんだというスタンスを全員に持っていたくのが大変でしたね。万が一、行政に対して一方的に市民が意見を言うようなことがあっても、間に立ったコーディネーターが止めました。

……トラブルの対処方法がきちんとしていますね。  
できるだけ精密な企画を組んだ上で、さらに本番は何が起こるか分からないから、最悪の事態も想定して、何段階かに分けてセキュリティを作りました。周りからは「そこまでする必要はある?」と言われましたけど、僕は心配性なんで(笑)

……その結果は？  
最終的に堅神町に土地が決まりました。学区の北の端に立地するなどやや課題があったのですが、それはスクールバス機能でフォローすることで、最終的に合意を取りました。現在は建物の設計が終わり、建築業者も決定。数年後の開校を目指しています。

……このワークショップが無ければ、どうなっていたでしょう？  
多分、まだ土地も決まっていなかったでしょうね。決まらずに宙に浮いてしまふ子どもたちにとって最悪の状態だけは免れました。ただ、この結果は全員が平等に苦い薬を飲んだということですね。子どもたちのために、大人としての責任を取ったので、多分、全員が平等に不満足だと思います。

……教育委員会との関係は？  
信頼がありました。どんな団体も最終的には個人と個人。会議の内容をどこまでも一緒にすりあわせていこうと、教育委員会の担当者たちと話し合いました。

……途中で役を降りたくなかったことは？  
鳥羽小学校のワークショップ、1回目のトライの様子。土地を選定しています。

鳥羽小学校のワークショップ、1回目のトライの様子。土地を選定しています。

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行

**協賛**

第三銀行 三重銀行

百五銀行 FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献 東海ろうきん

JAバンク 三重県下JA/JA三重信連

僕が辞めたら、次は誰もやらないだろうと思ったので(笑)。辞めても「大変だから、仕方がないよね」と言われるだけだとわかっていたのですが、だからこそ自分が逃げないように、僕個人で受けるのではなく、伊勢志摩NPOネットワークの会の受託事業にしました。鳥羽小学校の問題に関わらなかったら、この先、市と協働で事業をすることは無いとも思っていたから、多少無理をしてもやらなくては行けないと考えていましたね。

## 市民参加型ワークショップの形式が根付く

……その後、鳥羽市でワークショップ形式が取り入れられることは？  
市の総合計画を市民委員と行政委員で企画委員会を立ち上げて決めていたのですが、その後期見直しをワークショップ形式で行いました。僕は途中から委員として参加したのですが、市民委員たちが参加を苦痛に感じていたのがわかりました。それで、今から改善できるところは変えようと思い、担当者に僕の方からワークショップ形式を取り入れることを提案しました。担当者が前向きな方だったので、実現することができました。

……市職員とも仲がいいのですか？  
職員のファシリテーター研修の講師や、とばみなとまちづくり市民協議会のコーディネーターなど、いろいろやっていますからね。

……市職員からも評価されているでしょう。  
立場によって評価してくれていたり、面倒に思っていたりするでしょうね。ワークショップ形式を取り入れると、どうしても行政改革を強いるところがありますから。それに、市民参加型と声をかけると、「とりあえず市民の声を聞いたと言うつもりだろう」と思って集まってくるが、本当にその場で決めるから、行政担当者は大変なんですよ。特に鳥羽小学校のようなハード整備は扱う金額も、厳しさも桁違い。利害も入り交じるなかで、協働型ワークショップで決めた事の効力は法的に保障されていませんから、非常につらいですね。

……鳥羽市以外からも声がかかるのでは？  
伊勢のまちづくり市民会議も、研修講師としてサポートしました。いつの間にか、協働事業を行う時の指南役になってしまいました。

……行政と協働事業を行ううえで、大切なことは何でしょうか？  
スピリットというか、ソウルでしょう。つまり、「町を良くするためには、絶対に実現させたい」という熱意です。行政と市民が、その熱意だけは共有できるという前提が最低限ないと、何もできません。

……全員が同じ熱意を持つのは難しいのでは？  
それは僕も無理だと思います。でも、熱意のある人が核にいて、技術を身に付けた人たちが周囲を固めてチームを組めばできますよ。多少温度差があっても、技術があれば役割分担できますからね。その辺りの割り切った役割分担が行政職員さんは得意ですね。でも、核になる人には熱意をきちんと持って欲しいですね。

●  
NPO法人伊勢志摩NPOネットワークの会  
516-0011 伊勢市一色町2 森本オフィス内  
Tel.0596-20-6616 Fax.0596-20-6617  
E-mail morikao@lilac.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://ponpp.net/index>

川村 透さんはこの人を**紹介**します。

松本きりりさん  
平成20年に三重で開催する予定の詩のボクシング全国大会や川柳などで活躍されています。

**おねがい**  
市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。  
(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。  
(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。

100 PRINTED WITH SOY INK 古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。